

## 桐生のファッションタウン運動への支援について（継続）

桐生商工会議所が平成 5 年度にビジョンを策定して進めているファッションタウン構想は、産業界と市民、行政が一体となって、共通の地域の将来の夢を、「ものづくり」と「まちづくり」と「くらしづくり」を連動させながら実現させようとする地域再生理論であり実践運動であります。その推進組織としてファッションタウン桐生推進協議会は豊かな地域の創造を目指した活動に取り組んでおります。

行政においても、平成 13 年度からの桐生市第四次総合計画並びに平成 20 年度からの新生総合計画、そして平成 25 年度からの後期桐生市新生総合計画にファッションタウンの推進が優先して取り組むべき事業に位置付けられて今日に至っております。

現在、多くの地方都市の疲弊が進み、将来の展望が見えず閉塞感に陥っている中で、地域それぞれの特長に注目して、その都市にしかないオンリーワンの「質の価値」を追求し、コンパクトシティの考え方を含むファッションタウン構想は、全国の地方都市や地域に再生の糸口を示すものと考えます。

つきましては、ファッションタウンの推進並びにファッションタウン桐生推進協議会の継続的な活動について、引き続き更なるご支援を賜りますようお願いいたします。

### 【ファッションタウン推進運動の具体的成果例】

・桐生ファッションタウン大賞によるまちづくり貢献者（団体）の顕彰、・ファッションタウンわがまち風景賞による優れた景観・建造物等の顕彰、・商店街一店一作家（一工場）運動による中心市街地の賑わい創出、・ノコギリ屋根工場の全件調査とその活用による産業観光の推進、・フィールドワーク桐生による伝統的建造物の清掃作業、・桐生天満宮からくり人形芝居の復元、・桐生うどん会の組織化による全国 P R、・桐生ファッションウィークの立ち上げと支援（クラシックカーフェスティバル他）・経済産業省「近代化遺産の活用による地域活性化運動」の窓口業務、・ F T サミット（平成 9 年）、生活文化創造都市全国大会（平成 22 年）など全国会議誘致、・桐生まちなかマップ、産業観光マップの作成と発行、・桐生を訪れるデザイナーたちの窓口業務、・「音楽と食の夕べ」の開催、食の掘り起こし（子供洋食、ぎゅうてん等）、・連続郷土講座「桐生学」の開催桐生市は、人口減少・少子化高齢化が著しく、将来的には現在のインフラ、行政サービス、医療、介護、教育などさまざまな分野で困難な状況が想定されます。そこで「コンパクトシティ」を目指したまちづくりを推進し、効率化を図る必要があります。

「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における、まちづくりに向けての重要な視点として 4 つのキーワードが挙げられています。その 1 つに「コンパクトシティを目指した中心市街地の再生と地域づくり」とあるように、これを具体的に実現すべく、至急、中心市街地活性化法によるところの「中心市街地活性化計画」の作成及び「中心市街地活性化協議会」の設置を要望します。

### 【桐生市からの回答】

「ファッションタウン桐生推進協議会」につきましては、地域資源を活かした地域再

生構想である「ファッションタウン構想」の推進組織として、長年にわたり、桐生のまちの再生に向けての取り組みを継続され、地域活性化に寄与し得る多くの具体的成果をあげられたことに対しまして、改めて敬意を表する次第であります。

今後につきましても、自由かつ柔軟な発想による創意工夫を活かしたアイデアと、豊かな見識に基づく協議会の活動により、地域再生の更なる進展に期待しておりますし、市といたしましても、産学官民の更なる連携強化を促進しながら、力強く支援してまいりたいと考えております。

【回答担当】産業経済部産業政策課工業労政係